

ブリッジ BRIDGE

社会福祉法人 ゆうかり

87 02
2026



● **特集 『ゆうかり公演「星の王子さま」を終えて』**

● **ゆうかり秋祭り 他**
〈ゆうかり学園〉

● **秋の遠足、発表会 他**
〈ゆうかり保育園〉

● **コスモス見学、ぱすてるクリスマス会 他**
〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



社会福祉法人ゆうかり HP

ゆうかり公演「星の王子さま」を終えて



「星の王子さま」が描かれたのは第二次世界大戦の真最中。作者サン＝テグジュペリは生まれた国フランスからアメリカに亡命をします。ある日、友人に「ぼくの心のなかにはいつも、この小さな少年がいるんだ」と王子さまの絵を描いて見せたそうです。そのことがきっかけで「星の王子さま」は出版され、世界中の人に愛される物語になりました。

科学や工業技術が進歩して発展した今、モノが溢れて豊かになり、効率のよさや便利さが求められています。それは決して悪いことではないのでしょうか。だけど忘れたくないのは、「笑い合ったこと」「勇気を出して仲直りしたこと」など、誰かと一緒に過ごした時間とか思い出という目には見えないモノ。そのぬくもりを感じるからこそ、私たちは夢を、みんなで生きる未来を描こうとすることができるのかもしれない。



権藤説子presents誰もが楽しめるバリアフリー演劇in鹿児島は4回目となりました。鹿児島県立鹿児島南特別支援学校の立派な体育館が劇場となり、年齢も障害の有無も関係なくまぜこぜになった300名が集いました。嬉しいことに超満員。

本番では物語の登場人物「呑み助」「地理学者」役で、ゆうかり保育園の先生、鹿児島南特別支援学校PTCA会長、鹿児島南特別



支援学校の校長先生が出演。社会福祉法人清心会の堀口旬一朗さんもヘビ役を演じるために埼玉県から鹿児島初上陸。王子さまが地球に旅立つ場面と星へ帰るクライマックスシーンでは、会場のみなさんが主役・共演者となって手話や身振り、歌と一緒に作りあげ、大いに盛り上がりました。その時のみなさんの嬉しそうな笑顔、真剣な表情、身体の気迫は、演劇を分かる、分からない・できる、できないとかでは語るこのできない、誰もが誰かのために想って自分のいのちを輝かせている瞬間だと感じました。



公演の間、開演と同時に（開演前から）舞台上上がって、ものすごい想像力で王子さまと一緒に演じながら旅をしている子どもたちを見ながら、私は心地よい時空間を漂っていました。なぜだろうと思返してみると、その答えのひとつにゆうかり保育園の子どもたち、大人たちとの出会いがありました。子どもも大人も互いから学ぶ、ひとりのためにみんながつながり支え合う、ありのままの姿を受けとめ合うことを大切にしているゆうかり保育園のみなさんの心が、劇場を包み込んでいたんだと気がつきました。そしてその心に呼応する人たちが協働者となって様々なカタチであの一日を生みだしてくれたのだと思いました。

王子さまが歌います「砂漠はとつてもきれい。なぜ？それはどこかに泉を隠しているから」。人は誰もが、自分でも自分に驚くような無限の可能性を秘めているのではないのでしょうか。バリアフリー演劇もどんな可能性を秘めているのか、まだまだ未知です。だからこそ、人の、みんなで生きる社会の希望を伝えあい表現できる場となり、演劇とは人にとって、社会にとって何かを考え、行動し続けていきたいと思います。

寒いなか駐車場でみなさんを迎えてくださった鹿児島西ロータリークラブのみなさん、受付を担ってくれた専門学校のみなさん、この公演に関わってくださったみなさんに心から感謝します。ほんとうにありがとうございました。また鹿児島に帰ってきて、みんなと一緒に笑って泣いて、幸せが溢れる空間をつくりたいです。

東京演劇集団風 渋谷愛

俳優。東京都出身。
日本大学芸術学部演劇学科卒業。
2007年、東京演劇集団風に入団。

「星の王子さま」では王子さまの星に咲く、花役を演じている。
拠点劇場レパートリーシアターKAZEの公演の企画・製作や、海外交流のプロデュースを行う。
好きな食べ物：バナナ、納豆、とろろ、餃子
苦手な食べ物：にんじん
小さな頃になりたかったもの：魔女





楽しみにしてたキッチンカーフード



おいしくて笑顔がこぼれます



町内会のみなさんとコラボ



ぶっつけ本番です



ともだち出来てよかったね



暗くなったらここに映画が映ります



暗くなるのが待ち遠しい



まもなく映画上映会



ジュースで乾杯!



クリスマスチキン♪



超絶にぎやかなのです



仲睦まじいのです



ひたすら楽しいんです



非常に楽しいんです



思い切って歌ってみるんです



加山雄三です?

ゆうかり秋祭り2025

11月1日(土)、野外シネマを含めた「ゆうかり秋祭り2025」を開催しました。秋の澄んだ空気の中、マジックやピアノ演奏、歌唱を楽しまれ、会場は和やかな雰囲気になりました。キッチンカーで好きなものを選び、日が暮れてからアイスクリームを召し上がる方もおり、「何も寒くなってから食べなくてもいいのに!」と笑顔がこぼれる場面も。地域の皆さまと交流する、温かな一日となりました。

writer: 宇都 大作

メリークリスマス!

12月25日(木)、ゆうかり学園でクリスマス会を開催しました。乾杯の音頭とともに食堂には笑顔が広がり、久しぶりに入所利用者さんとグループホーム利用者さんがそろっての開催となりました。クリスマス料理や特別に用意したケーキ、プレゼントやカラオケを楽しみ、会場は和やかな雰囲気に包まれました。皆さんの嬉しそうな表情に、職員にとっても心温まる時間となりました。

writer: 松山 竜馬



10月3日 秋の遠足



消防署までお散歩



頑張っても歩いたよ♪



大きい組さんは



水族館に行きました♪



イルカショー楽しすぎた!



お弁当も美味しかったよ♪



12月14日 発表会



初開催!ラプラスホール



のりのおむすびくん♪



がんばるぞー!おー!



可愛い衣装で歌います♪



オペレッタ「大きなかぶ」



司会も頑張りました!



さくら組さんは最後の発表会

お弁当作り

11月の食育活動として「お弁当作り」を行いました。子どもたちは自分でおにぎりを握り、丸や三角など思い思いの形を楽しんでいました。完成したお弁当を持って園庭にブルーシートを広げ、みんなで昼食をとります。「自分たちで作ったお弁当はおいしい」と笑顔も多く、楽しい食育活動となりました。

writer:池元 里帆

初めての発表会

今年度、初めてラプラスホールにて発表会を開催しました。準備や練習から本番まで、子どもたちと職員が緊張しながら取り組みました。お遊戯やオペレッタ、劇などを一から練習し、本番では一生懸命な姿を見せてくれました。「楽しかった!」という声も聞くことができ、心に残る発表会となりました。

writer:大園 昂季



コスモス見学
 壮大で綺麗なコスモス畑でした。



クリスマスツリーづくり
 一人ずつ選んで作られました。



完成!
 カサネタ木工さん
 ありがとうございます!



ハロウィンパーティー
 過去いち怖いでしょう!!



ひょうたんアート
 いつもと違うキャンパスに芸術を



アミュの広場前
 ツリーの前でハイ、チーズ!



ばすてるクリスマス会
 上手に作れました!



しめ縄作り
 綺麗でおしゃれなしめ縄が出来ました



昨年10月からばすてるに通所して
 下さっているFさん。しっかり者で
 とてもまじめな方です。



グループホームクリスマス会
 Uさんも楽しまれています。



お酒もケーキも
 美味しく食べられました。



昨年11月からばすてるに通所して
 下さっているUさん。マイペースな性格
 ですが、とても手先が器用な方です。



綺麗に生け花
 男性利用者・Uさんの作品です。



今年も立派な門松が届きました。
 ありがとうございます。

2025年活動報告と振り返り

2026年という新たな年を迎えることができました。昨年は季節ごとの行事を利用者の皆さまと共に楽しみ、新たな出会いもありました。これまでのご縁に感謝しながら、今年も利用者の皆さまと笑顔あふれる一年を過ごしていきたいと思ひます。

writer: 溝下 壮太郎

クリスマス行事と門松

土曜開所では、カサネタ木工さんのご協力のもと、スケートボードの廃材を使ったクリスマスツリー作りを行いました。また、アミュプラザのクリスマスツリーやクリスマスマーケットを見に出かけ、季節を感じる時間を過ごしました。年末には門松を玄関に飾り、一足早くお正月の準備も行いました。

writer: 古下 希



研修報告 感染症予防講習会

インフルエンザと感染拡大防止策について、保健師の上野多吉子さんからお話を伺いました。インフルエンザの予防接種に関して、発症リスクだけでなくICUへの入室リスクや死亡リスクを2~3割軽減する効果を知り、重要性を改めて認識しました。また、冬場は特に感染症が

流行しやすい時期な為、湿度管理や換気、消毒を行ない、環境作りに気をつけるとともに、手洗いやマスクの着用は正しく行えるように皆で意識して取り組みたいと思いました。

writer:大辻 理紗



研修報告 学園全体研修

10月25日、カクイックス交流センターにて学園全体研修を行ないました。今年のメインテーマは『認知症を知る』。認知症の傾向がある方に起こり得る支援現場での様々な場面と対応方法を見ていき、認知症の方々に安心を与える『ユマニチュード』というケア技法を学びました。グループワークでは実際の支援で迷った

場面をたくさん共有して、各テーブルで話が盛り上がっていました。今回の研修で一番お話したことは「ひとりで頑張らないでください」ということです。支援はチームプレイであるということを皆で再認識し、大変有意義な研修となりました。

writer:松元 直樹

長寿祝い 喜寿おめでとうございます! 入職 よろしくおねがいします



喜寿
Mさん (S23年生まれ)

●ゆうかり学園

生活支援員/山田 未空

新入職員からのコメント

「12月から入職しました。いたらないところがあると思いますが、よろしくお願いします。利用者さんと信頼関係を築き、毎日楽しく過ごせるようにしていきたいです。」

お悔み お悔み申し上げます

12月19日、当法人に勤務しておられました、塩屋 いく子さんがご逝去されました。グループホームゆうかり 世話人として利用者さんの生活を支えていただき、大変お世話になりました。ここに、故人のご冥福をお祈りし、謹んでお知らせいたします。

法人役員メッセージ

「年頭所感」

社会福祉法人ゆうかり 理事長 水流源彦

Your Smile Makes
Everyone Happy.

利用者の皆さんの健康状態も良好で、穏やかな年明けを迎えることができました。日頃より法人の活動を支えてくださっている皆さまに、心より感謝申し上げます。

1月11日(日)、権藤説子さんからの4回目のプレゼントとして、東京演劇集団風によるバリアフリー演劇「星の王子さま」を鹿児島にて開催することができました。現時点でのバリアフリー演劇コンテンツのコンプリートとなる記念すべき公演であり、私たちの保育園のこどもたちとスタッフが、いつの日か実現したいと願っていた演目でもありました。当日は満場三百名の観客を迎え、会場全体が一体となりました。

会場をお貸しいただいた鹿児島県立南特別支援学校の水野校長をはじめ教職員の皆さま、PTCA

の皆さま、鹿児島西ロータリークラブ、鹿児島経済同友会ダイバーシティ委員会、鹿児島医療福祉専門学校の学生の皆さま、そして多くのボランティアの皆さまに、心より御礼申し上げます。なにより、東京演劇集団風の皆さまの熱意とご尽力に、深く感謝いたします。

保育園のこどもたち、卒園した在校生、みんなでつくりあげた素敵なステージ。

教頭先生が、在校生の保護者から「一緒にステージにあがった我が子が、ほんとに楽しそうで、こんなこと、一生に一度です!」と喜んでおられた、と教えてくださいました。個人的には、「そんなことないです!これからも楽しみましょう!そして、日常にそのような場面が増える社会にしましょう!」と、言いたいところですが、そんなに世間は甘くありません。しかし、自覚者は責任者

です。みなさんのお力をお借りして、誰もが自身の笑顔を誰かのために輝かせる社会を目指し続けます。まずは、成功裏に終わられたことを、感謝とともにお伝えします。

昨年末には高次脳機能障害者支援法が成立し、全国地域生活支援ネットワークの仲間たちと長年取り組んできた活動が、一つの形となりました。今後は障害者基本法の改正に向けた議論にも関わる機会が増えてまいります。その土台となるのは、日々の現場での実践です。法人内各事業所の地道な取り組みが、確実に社会を前に進める力になることを信じ、これからも歩みを続けてまいります。本年も、皆さまとともに、誰もが笑顔を輝かせて暮らせる社会の実現を目指してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

午年

う きうきHAPPYな笑顔で
ま すますうまくいく年に!

本年もよろしく願いいたします

理事長 水流源彦

理事 塩満創 内村史章 北岡賢剛 片岡保憲 川崎良太 職員一同

謹
賀
新
年

令和
8年

二
〇
二
六

感情丸出しの支援を行なってはいないか？

私ごとではあるけど、最近はグーグルよりも、AIを使う頻度が高い。昨年の今頃はAIなんて実用に耐え得るのかあ？だったが、あっという間に進化し、あたかも誰かと会話するような事になってる。介護や支援の分野はまだAIに取って代わる事はない・・・いやいや、今はAIロボットの開発競争が展開していて、やがて、私たちよりも断然気の利いた、優しく包み込むような支援をする様になりそう。感情的になってしまうこともある私たちの支援も、AI（介護ロボット）にとってかわってしまう未来があるかも？と思うと、何となく感慨深い。私たちは、やっぱり人間だから・・・。

writer: 川田 晃一

= Event =

🏠 ご家族も参加いただけます 🌳 地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
2月	誕生者外出	3日 節分・豆まき 5日 交通安全教室 7日 職員研修 12日 避難訓練 18日 食育・クッキング	誕生会 土曜開所2回 節分
3月	誕生者外出 お花見	4日 避難訓練 6日 お別れ遠足 14日 卒園式・入園説明会 18日 食育・クッキング 31日 休園日・職員研修	誕生会 土曜開所2回 ひな祭り
4月	誕生者外出	1日 入園式	誕生会 土曜開所2回 花見

発行責任者 理事長 水流 源彦
ブリッジ編集委員会 川田 晃一・松元 詞子 (ゆうかり学園) 甲斐 静華 (ゆうかり保育園)
溝下 壮太郎・古下 希 (地域生活支援拠点ゆうかり)

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520
ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776
地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

